

静岡、チェコに逆転負け

SBS CUP INTERNATIONAL YOUTH SOCCER

2017 SBSCUP 国際ユースサッカー

第1日

きのうの結果	チエコ 2-1 静岡
きょうの試合	チリ 2-1 日本
静岡	15:00 日本
チリ	17:20 チエコ

(会場はエコパスタジアム)

SBSカップ国際ユースサッカー(日本サッカー協会、県サッカー協会、静岡新聞社・静岡放送主催)は10日、藤枝総合運動公園サッカー場で開幕した。静岡ユースはU-18(18歳以下)チェコ代表に1-2で敗れ、初戦を落とした。U-18日本代表はU-18チリ代表に1-2で惜敗し、黒星スタートとなった。大会第2日は11日、エコパスタジアムで行われる。

【評】静岡は後半立ち上がり連続失点し、チェコに逆転負けした。1点リードで折り返した後半2分、右サイドから背後を突かれ、4分にはゴール前の混戦から勝ち越し弾を決められた。前半は静岡ペース。



静岡ユースU-18チエコ 前半、静岡ユースの白井がゴールを狙うが相手GKに阻止される。藤枝総合運動公園サッカー場

25分に右CKから山口が頭で押し込み先取点を奪った。逆転された後は中盤で球を動かして好機をうかがったが、相手の厚い守備を崩せなかった。静岡は強いチームU-18チエコ代表こそ、後半は1点のみだった。

終始優位も後半に隙

静岡はボールを支配して優位に進めたが、シュート17本の怒濤の足取りは重く、最前線の白井主将は「結局セットプレーでの得点だけ。前線が貪欲にゴールを狙っていかないと責任を背負い込めないと」と責任を背負い込んだ。2失点はともに相手のロングパスから。後半2分は最終ラインの背後を突かれ、

4分は守備陣がクアしきれず豪快にり込まれた。鈴木監督(桐陽高教)は「ボールを奪われた後最初の守備が甘くってしまっただけ」と唇をかんだ。チエコには、シュート10本のうち決定的だった2本を確実に決められた。鈴木監督は「相手はわずかな好機を生かした」と決定力の差を痛感した。身長180センチの大型選手がそろったチエコに対し、球際の強さ、運動量で互角に渡り合ったことには手元がある。11日の日本戦に向け、白井主将は「将来につなげるためにも良いプレーをした」と気持ちを切り替えた。(萩原正司)

日本、チリの勢いに屈す

【評】日本は大きく展開するチリの攻撃に苦戦を強いられた。前半33分、チリにスローインからクロスを上げられ先制された。後半4分はハンドの反則でPKを取られ、失点した。終盤はリズムをつかみ、30分には加藤が相手GKと1対1になる好機をつかった。36分に加藤のパスを杉田が決めて1点を返したが、反撃は遅かった。

チリ代	2(1-0)	日本代	1(0)
表	1	表	0
裏	1	裏	0

△得点者【チ】アイエンデ(モリス)アラゴン(P) K【日】杉田(加藤)

チ	4	3	3
チ	4	3	3
チ	4	3	3



U-18日本U-18チリ 後半36分、U-18日本の杉田がゴールを決め1点を返す。藤枝総合運動公園サッカー場

途中出場組 意地の1点

日本は途中出場の2人で意地の得点を奪った。0-2の後半36分、左サイドを駆け上がったFW加藤が2度の切り返しで相手守備陣を振り切った。「いつもなら1人目を外したら左足で(シュート)を打つが、確率を求めた」と加藤はフリーだった中央のFW杉田にパスを出した。冷静に流し込んだ杉田は「走ったところに出してくれて」と感謝した。加藤は今月初旬、J1清水の練習に参加した。ブラジル人DFの力と何度も競り合ったことで、きょうは「やれる」と思っていたと体格で上回る外国人選手に当た

り負けしなかった。「(清水の)鄭大世さんや小林監督からのアドバイスも生きた」と練習で学んだことを実践で生かした。チリの口プレス監督に「9番(加藤)が入ってから苦戦した」と言わしめた。チームは前半、相手のスピードや強さに戸惑い、ミスが目立った。MF伊藤は「立ち上がりは相手の勢いのみ込まれた」と慣れるまで時間を要したことを悔やんだ。影山監督は「国内で世界基準の体験ができる。でも、いい経験をしたと思うだけで成長はない。勝つためにやっつけていく」と巻き返すを期した。(天山雄一郎)